

施工チェックシート

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第3節 搬出設備
--

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : 集じん用ベルトコンベヤ

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 駆動用チェーンテークアップ代に見合うスライド幅はあるか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。また、油の種類は表示したか。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 駆動チェーンの緊張度を正しく調整したか。
- ゴムベルト緊張度調整後、テークアップ代に余裕はあるか。
- チェーンにグリースを塗布したか。
- 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- 給油ポンプには行き先を表示したか。
- グリースガンの場合グリースニップルは統一し作業しやすい所に配置したか。
- 防臭カバーは取り外し可能な構造か。
- 防臭カバーの点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- 非常停止装置用ワイヤは両側全長に渡り取り付けられているか、表示板は取り付けられているか。
- ワイヤにキंकはないか。端末処理はなされているか。
- 蛇行検出用サイドローラリミットスイッチは作動時にカバーとの干渉はないか。
- スカート用ゴム板とベルトの間隔調整は行ったか。
- 自動調芯ローラとスカート用ボルト等との干渉はないか。
- スクレーパの調整は完了したか。
- テークアップの緩み防止措置はされているか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2~3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされているか。
- 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第3節 搬出設備
--

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : スキップホイスト

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 減速機油面計は見やすい位置にあるか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 減速機の給油量は適量か。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- 集中給油装置のグリースは給油口から軸受まで充填されているか。
- 給油ポンプには行き先を表示したか。
- グリースガンの場合グリースニップルは統一し作業しやすい所に配置したか。
- 各リミットスイッチの取付位置は適切か。
- ワイヤにキンクはないか。端末処理はなされているか。
- 上昇・下降逸走防止ストッパ取り付け位置は適切か。
- 点検扉を全開にし、周辺物への干渉はないか。
- 下部ピット内のリミットスイッチの点検は可能か。
- 下部ピット底部は、モルタルにて勾配をつけて仕上げられているか。
- 下部ピット底部の配水管接続部には釜場を設け格子蓋を取り付けたか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- 水上部は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。
- 回転方向の矢印は色塗りしたか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされている
- 清掃は完了したか。

施 工 チェ ッ ク シ ー ト

共通仕様書(下水道施設機械編) 第 6 章 沈砂池設備工事 第3節 搬出設備
--

点検実施日	平成 年 月 日
点検者名	印
施工場所	

機 器 名 称 : ホ ッ パ

1. 駆動装置

- 端子ボックスの位置、向きはケーブルの接続に支障ないか。
- 端子ボックスカバーの取り外しスペースは確保しているか。
- 排油作業は容易に行えるスペースがあるか。(ドレンパンが入るスペースがあるか。)
- 排油バルブにプラグまたはキャップはついているか。
- 圧力タンクの給油量は適量か。
- 油圧配管の酸洗及びフラッシングは完了したか。
- 回転方向は確認したか。
- 運転を行い駆動部から異常音がないか。

2. 本体

- ホッパ室に車止めは設置されているか、位置は適切か、トラックの案内線は引いてあるか。
- 飛散防止カバー及び受といは搬出車両の進入に障害とならないか。
- シリンダーストローク調整リミットスイッチの位置調整が可能な設備があるか。
- アンカーボルトの増し締めは完了したか。
- モルタルの仕上げ状態は良いか。
- 受といは簡単・確実に清掃できる構造に成ってるか。
- アーチング防止対策は講じているか。
- ボルトの突き出し長さは適切か。(2～3山程度)(切断面の面取り処置はしたか)

3. 塗装

- ホッパー内面は指定色が塗布されているか。
- 機器名称は見やすい位置に書いたか。制限高さ表示があるか。

4. その他

- 施工管理記録は作成したか。
- ロードセル現場調整の試験成績表を作成したか。
- 制御盤のケーブル引込み部のシールは十分か。
- 制御盤内に図面(配線図、シーケンス等)は入っているか。
- 点検歩廊に蹴り止め、水抜き穴は設けられているか。傾斜部に滑り止め措置はされている
- 清掃は完了したか。